

## 2023 静岡サーフカーニバル IRB 競技実施草案

静岡サーフカーニバル IRB 競技実行委員会

### 記

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は当協会事業に対しまして格別なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、下記の通り「2023 静岡サーフカーニバル IRB 競技」を開催いたします。

つきましては開催にあたり参加競技者の募集をさせていただきますので皆様のご参加をお待ち申し上げます。

敬具

### 記

以上

- 大会名称 静岡サーフカーニバル
- 主催 静岡サーフカーニバル実行委員会
- 日程 2023 年 5 月 7 日(日) ※予備日なし
  
- 会場 相良サンビーチ
- 後援 牧之原市 (予定)、認定 NPO 法人静岡県ライフセービング協会
- 協賛 IPG(IRB 普及促進会)
- 協力

## ■ 競技種目

[カテゴリ 1] クラブ対抗 IRB 選手権(オープン)

01 IRB レスキュー(女子) \*3 人 1 組

02 IRB レスキュー(男子) \*3 人 1 組

03 IRB マスレスキュー(女子) \*4 人 1 組

04 IRB マスレスキュー(男子) \*4 人 1 組

05 IRB レース(女子) \*2 人 1 組 ※本大会特別種目、競技会参加規程 7-7 を参照

06 IRB レース(男子) \*2 人 1 組 ※本大会特別種目、競技会参加規程 7-7 を参照

[カテゴリ 2] クラブ対抗 IRB 選手権(マスターズ 45 歳以上)

クラブ対抗 IRB 選手権

07 IRB レース(女子) \*2 人 1 組 ※本大会特別種目、競技会参加規程 7-7 を参照

08 IRB レース(男子) \*2 人 1 組 ※本大会特別種目、競技会参加規程 7-7 を参照

- 各団体/クラブから何チームでもエントリーを可能とする(上限を設けない)。
- 男女混合チームを編成することは原則として認められない。ただし、オープン参加の条件であれば、男子の種目に男女混合でのエントリーを認める。但し、男子を少なくとも 1 人以上を含むこと。
- IRB 艇の仕様やその他参加条件等は、別紙「レギュレーション」を参照すること(必ず一読すること)。

## ■ 競技規則

本協会発行「ライフセービング競技規則<2022 年版>(2022.07.01 版)」及び大会参加規程に則り実施をする。詳しくは大会参加規程 7.を参照すること。

※競技ルールを十分に理解して出場すること。

## ■ タイムテーブル

別紙を参照すること。確定版は、申込締切・集計後に 2 次要項と共に公表する。なお、天候や漁業などの影響により変更する場合がある。

## ■ 得点/団体総合順位

決勝の結果に対して各種目の上位 1 位~8 位を入賞とし、得点が加算される。配点は以下の通りとする。

1 位-8 点 2 位-7 点 3 位-6 点 4 位-5 点 5 位-4 点 6 位-3 点 7 位-2 点 8 位-1 点

- ブロッキングシステムを採用する(種目の上位 8 位以内に同一クラブが複数チーム入賞していた場合は、最も上位の順位のみが総合得点に反映される)。

なおマスターズはエキシビションとし得点加算とメダル授与は行わない。

- 団体/クラブの獲得点が同点の場合、1 位の種目が多い団体/クラブを上位に、1 位の種目が同数の場合は 2 位の種目が多い団体/クラブを上位として団体総合順位を決定する。

- ・決勝で失格の場合は「0点」とする。
- ・団体総合順位は、本競技会で実施する種目全体の70%以上の最終競技結果をもって、成立するものとする。

#### ■ 表彰

<種目別表彰>

各種目上位1位～3位にメダルを授与する(予定)。

マスターズはエキシビションとしメダル授与は行わない。

<団体総合表彰>

前項(得点/団体総合順位)の獲得点を男女別に算出集計し、獲得点の多い上位1位～3位の団体/クラブに表彰状を授与する。

#### ■ 参加費

##### 【チーム参加費】

選手一人当たり2,000円(保険代含む)とし、出場人数に乗じた金額を収めること。

※1 チームの上限は男5人女5人計10人までとする。

##### 【参加費の扱いについて】

以下のような状況であっても、参加費及び変更手数料は返還されない。

- ・参加競技者が欠場あるいは失格となった場合。
- ・申込締切後に出場登録が取り消された場合。
- ・エントリーミスによる競技会出場不可の場合。
- ・天候その他の理由により、やむを得ず開催中止となった場合。

但し、本競技会に限り、新型コロナウイルスの流行に対し、今後感染拡大の危険性、流行のピークなどをふまえ事前に開催中止と判断された場合はこの限りではない。この場合による参加費返金は以下の通りとする(振込手数料は主催者負担とするが、返金先の口座情報に誤りがあり、再振込に係る諸手数料が発生する場合はチーム側の負担とする)。

- ・競技会当日から2週間以上前の判断による場合:返金を行う \*目安 2023/4/21(金)以前
- 1 チームあたり 8,000 円を徴収し、残金を返金する
- ・競技会当日から2週間以内の判断による場合:一切返金しない

#### ■ 代表者会議

競技進行や競技実施における注意事項等について説明する代表者会議を、競技会の前に開催する。団体/クラブ代表者(やむを得ない場合は参加競技者の中から代表者に準ずる者)は必ず出席をすること。詳細は2次要項にて、エントリー担当者宛にメールで配信をする。

開催日時:2023年5月7日(日) 時刻未定

開催場所:未定

#### ■ 宿泊について

本協会及び行政(観光協会/組合、など)の斡旋はしない。必要な場合は各団体/クラブで手配

すること。

■ 会場へのアクセス/駐車場について

静岡県牧之原市内の海岸にて調整中

- 駐車場は指定地を利用すること(詳細は 2 次要項にて配信する)。
- 絶対に違法駐車はしないこと。

■ 情報発信

競技会実施状況(中止の判断、など)を、下記の通り発信予定。天候等の状況に応じて変更する可能性がある。

- 1) 2023 年 5 月 6 日(土) 13:00 頃 ・ 19:00 頃
- 2) 2023 年 5 月 7 日(日) 安全対策役員会終了後(7:00 頃)

競技会専用の SNS を活用し、競技会関係各位へ 2 次的に情報提供をするため運用を行う。

■ 申込方法

各種要項等を必ず熟読し、以下の手順でエントリー作業を行うこと。提出先などの詳細は、別紙「エントリースケジュール(各種締切)」を必ず確認すること。

※様々なエントリー不備(期日までに各種登録が完了していない、宛先メールアドレス入力間違い、郵送物が提出されていない、入金金額が不足している、など)が非常に多く発生している。申込締切日までに正しくエントリー出来ていない場合は、いかなる状況・理由でもその後のエントリーは認めず、また参加費の返還はしない。エントリー担当者はミスが無いように慎重に作業を進めること。

【データ送信の作業】

- 指定のエントリーフォームより、期日までにエントリーを行うこと。

【参加費支払いの作業】

- 各団体/クラブの参加費合計金額(個人参加費+チーム種目参加費)を、指定された金融機関口座へ期日までに支払うこと。
- 参加費の支払いは、「LIFESAVERS」では取り扱えないため、注意すること。

## 静岡サーフカーニバル IRB 競技大会 参加規程

### 1.参加資格

競技者の参加資格は下記を満たしている者、若しくは本協会が特別に参加を認めた者でなければならない。

1-1 競技者は、本協会発行「ライフセービング競技規則<2022 年版>(2022.07.01 版)」に記載、「7.2.4 競技者の条件」に原則として則ることとするが、本大会に関してはまだ普及期間という事を鑑みて、一部条件に限り次の通りとする。

- ドライバー競技者における、本協会が認定するアカデミー資格(認定ライフセーバー資格のうち、「IRB ドライバー資格」)の取得は免除とする。ただし、法令で定められた海技免許「二級小型船舶操縦免許証」以上の所持は必須とする。
- クルーパーソン競技者における、本協会が認定するアカデミー資格(認定ライフセーバー資格のうち、「IRB クルー資格」)の取得は免除とする。

※「7.2.4 競技者の条件」の抜粋

IRB 競技に出場する競技者は、競技会が開催される年に 16 歳以上でなければならない。あるいは、ILS 認定団体が定める年齢が 16 歳以上であればその年齢以上である必要がある。又、競技に出場することを ILS 認定団体に認められていなければならない。加えて以下の条件がある。

- A) ドライバーは、競技会が開催される年に 18 歳以上であること、又は、ILS 認定団体が定める年齢が 18 歳以上であればその年齢以上であること。又、ドライバーは、ILS 認定団体のドライバー資格又はそれに相当するもの)、法令で定められた運転免許を含むその他の必要な資格、及び所属するライフセービング組織が要求する技能を現有していることが必要である。
- B) クルーパーソンは、ILS 認定団体によるクルーパーソン資格(又はそれに相当するもの)及びその他必要な資格を取得しており、熟練していること。
- C) ペイシェント(又は被救助者役)は、ILS 認定団体によるライフセーバーの資格、及びその他必要な資格を取得しており、熟練していること。

1-2 競技者は、ライフセービングを志し、指定された資格を保有した状態で出場する競技会の過去 1 年以内に海岸やプール等水辺での監視・救助活動、または教育・普及活動に従事したものでなければならない。

但し、昨今の新型コロナウイルスを取り巻く状況を鑑み、参加に必要な監視・救助活動、または教育・普及活動が行えない状況にある場合は、この限りではない。

1-3 競技者は、本協会が認定するアカデミー資格(認定ライフセーバー資格のうち、サーフライフセービング資格※)を、申込締切日までに取得していなければならない(検定に不合格

となった場合でも、競技会参加費は返還されない。

※認定ライフセーバー資格のうち、サーフライフセービング資格とは次の資格のことを指す(JLA アカデミー規程集「資格認定に関する規程」より)。

- サーフライフセービング・指導員(アシスタントインストラクター含む)
- ベーシック・サーフライフセーバー
- アドバンス・サーフライフセーバー

1-4 競技者は、申込締切期日までに、オンライン登録管理システム「LIFESAVERS」にて2022年度の資格登録費及び選手登録費の支払いを完了していなければならない。

1-5 競技者は、1つの団体/クラブから出場しなければならない。

## 2.団体/クラブ構成

2-1 団体/クラブは、申込締切期日までに、オンライン登録管理システム「LIFESAVERS」にて本協会への2022年度加盟登録が完了しているのが望ましい。

2-2 本競技会に出場できる団体/クラブは、第1種、第2種、第3種及び第4種に限る(講習会主管の為に第1種登録をしている大学団体/クラブを含む)。

2-3 1団体/クラブから出場できるチーム数に上限は設定しない。ただし、複数チームに渡って同一競技者を登録することはできない。

2-4 団体/クラブは、同じ団体/クラブに所属する競技者により構成されていることが望ましい。

2-5 所属するクラブでチームが組めない場合は混成チームからの出場を認める。ただし、以下の項目が条件となる。

(1) オープン参加として出場を認める。チーム総合成績の対象外とする。ただし、種目別表彰は行う。

(2) 第1種、第2種、第3種、第4種クラブに所属しており、かつ自身の所属するクラブがすでにエントリーをしている場合には混成チームは認められない。

(3) 第1種、第2種、第3種、第4種クラブに所属しており、かつ自身の所属クラブで人数が足らずにチームを組めない場合、以下の条件で混成チームの結成を認める。

➤ Aクラブはすでにエントリー済み。1人エントリーに溢れたので、Bクラブの人と組んで混成チームを作った。

→すでにAクラブでエントリーされている為、混成チームの結成は不可とする。

➤ 自身はCクラブに属している(第1種、第2種、第3種、第4種クラブ)が、競技者が自分自身しかおらず、エントリーできない。一方、Dクラブに所属するxさんも同じ状況である。またEクラブに所属するyさん、Fクラブに所属するzさんも同じ状況であり、4名それぞれ違うクラブに所属しているが、混成チームを作った。

→出場を認める。

2-6 男女混合チームを編成することは原則として認められない(MIX IRB チームレスキューは除く)。ただし、オープン参加の条件であれば、男子の種目に男女混合でのエントリーを認める。なお男女混合チームを編成する場合は、男子を少なくとも 1 人以上を含むこと。

3.団体/クラブ名称参加団体/クラブ名称は、本協会に登録されている団体/クラブ名称を原則とする。但し、前項「2-5」に該当する場合は、エントリーをする団体/クラブ名称等で構わない。

#### 4.出場登録

4-1 参加チーム及び競技者は、予め所定の用紙(電子データファイル等)を用いて出場種目の登録をしなければならない(エントリー不備等が発覚した場合は、団体/クラブ代表者及びエントリー担当者にメールでのみ通知をする)。

4-2 競技者個人の技術や体力などを十分に考慮し、出場登録を行うこと。

#### 5.団体/クラブ代表者

各参加団体/クラブは、団体/クラブを代表する者として代表者を 1 名置かなければならない。なお、団体/クラブ代表者と競技者はこれを兼任することが出来る。また、団体/クラブ代表者(やむを得ない場合は参加競技者の中から代表者に準ずる者)は必ず代表者会議に出席しなければならない。

#### 6.ユニフォーム及び競技中の衣類

6-1 各団体/クラブは、式典や表彰式及び競技に適したユニフォーム、水着、キャップを持たなければならない。ラッシュガードは、主催団体から特別な指示がない限り、競技中任意に着用することができる。

6-2 ユニフォーム、水着、キャップの性質、デザインが一般良識に反すると主催団体が判断した場合は、いかなる競技者も競技に参加することができない。

6-3 キャップは、本競技会の申込締切日までに本協会に登録が完了していなければならない。また、キャップ登録管理番号を所定の用紙(電子データファイル等)に明記すること。

6-4 競技ではヘルメットの着用を義務付けるが、デザインの統一はされなくても良い。ヘルメットは EEN1385 ウォータースポーツ安全規格認定されたものとする。

6-5 団体/クラブのユニフォーム、水着、キャップ、ラッシュガードに競技会のスポンサーと対立するような商標、商標名があると主催団体が判断した場合、その対応は主催団体の指示に従わなければならない。

#### 7.競技規則

本競技会は、本協会発行「ライフセービング競技規則<2022 年版>(2022.07.01 版)」及び下記の事項に則り実施をする。但し、下記の事項が競技規則よりも優先される。

7-1 本競技会は、代表者会議開始時刻に開始し、最終競技種目の終了から 20 分後に終了するものとする。但し、抗議、上訴又は規律審査に属する問題がある場合、最終解決まで競技会は継続する。

7-2 競技会にエントリーすることで、参加者は競技会を管理する関連規則、規程、手順を知

る責任と義務があることを認識しているものとする。

7-3 決勝は A 決勝、B 決勝に分けず、1 ヒート(A 決勝に相当)のみとする。

7-4 予選後のラウンド、準々決勝・準決勝の組み合わせ配置は、直前の予選・ラウンドの結果に関係なく、ランダムに行われる。

7-5 ハンドラーは競技者と共に指定された時刻までにマーシャルに集合し、テクニカルオフィシャルの指示により整列すること。

7-6 ハンドラーは、原則として当該競技者と同じチームのメンバー(本競技会に競技者として出場登録している者)とする。やむを得ずチームメンバー以外からハンドラーを選出する場合、チーフレフリーが認める可能性があるのは、同様に本競技会に競技者として出場登録している者に限る。

7-7 「IRB レース」の競技規則は、次の通りとする。

A) 本協会発行「ライフセービング競技規則<2022 年版>(2022.07.01 版)」の「7.4 競技種目 1:IRB レスキュー」の規則をもとに、「ペイシエント」の人員及び動作を省略したものとする。

B) 各チームは、ドライバー1 人、クルーパーソン 1 人の編成である。

C) スタートは 7.3.2 及び 7.3.3 に準ずる。ただし、ペイシエントに関する記述は除外とする。

D) クルーは 7.3.4 と 7.3.5 に従う。ただし、ペイシエントに関する記述は除外とし、スタート後、沖へ進み、指定されたブイを回航する。

E) フィニッシュは 7.3.6 に準ずる。ただし、ペイシエントに関する記述は除外とする。

#### ※規則の要約

「IRB レスキュー」からペイシエントの人員と動作を省き、ドライバーとクルーパーソンのみによる競技とする。スタート後、指定されたブイを手順通りに回航する。「ペイシエントピックアップブイ」に本来居るはずのペイシエントのピックアップ動作は行わなくてよい。ドライバーとクルーパーソンのみで陸へ戻り、その後はフィニッシュの手順に従う。

7-8 MIX IRB チームレスキューの順番は、1 走目女子(ドライバー女子、クルーパーソン女子、ペイシエント女子)、2 走目男子(ドライバー男子、クルーパーソン男子、ペイシエント男子)とする。

#### 8.競技器材

8-1 競技で使用する器材は、本協会発刊ライフセービング競技規則の「第 8 章 設備及び器材の規格と検査手順」の基準を満たさなければならない。

8-2 IRB 競技で使用するブイ及びレスキューチューブは、主催団体が用意する。

8-3 主催団体は、競技者の競技器材の検査・再検査を競技前、競技中、競技終了後任意に行うことができる。競技器材が基準を満たしていない場合は、その競技者はその器材を使用できないか又は失格となる。

8-4 使用機材(IRB)に関しては、原則として各団体/クラブで持ち込み、用意をすること。ど

うしても用意ができない場合は主催者側で準備も検討の上、JLA の機材借用規定に則り、レンタル費を徴収の上レンタル艇の貸し出しも検討する(1 日 30,000 円/台を予定)。

## 9.テクニカルオフィシャル

9-1 テクニカルオフィシャルは、本協会が認定する認定審判員資格を、申込締切期日までに取得していなければならない。また、本競技会に競技者として出場登録をしていないこと。

9-2 テクニカルオフィシャルは、本協会が認定する BLS 資格を、申込締切期日までに取得していなければならない。

9-3 テクニカルオフィシャルは、申込締切期日までに、オンライン登録管理システム「LIFESAVERS」にて 2022 年度の資格登録費の支払いを完了していなければならない。

9-4 テクニカルオフィシャルは、「競技役員 1 次要項」に従い、指定された方法で申込を行うこと。

9-5 テクニカルオフィシャルの参加に関わる交通費、食事及び宿泊等は「競技役員 1 次要項」に基づき、

主催者が一部を負担する(予定)。但し宿泊に限り、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策のため、主催者の手配ではなく各団体/クラブでの手配となる(委ねる)場合がある。

## 10.その他

10-1 本競技会を安全に開催及び実施するにあたり、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐ為、参加者(競技者、競技役員、関係スタッフ、など全員)は【ライフセービング競技会の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン<オーシャン競技編>】を必ず熟読し、それらを確実に遵守すること。

10-2 新型コロナウイルスへの感染リスクをゼロにすることは困難であることを理解し、感染リスクがあることを承諾した上で競技会に参加すること。また、感染リスクを含むあらゆるリスク、損失において参加する競技者自身による自己責任であることに同意すること。さらに、主催者が提示する感染対策を理解し従うこと。万が一、競技会参加者に感染が確認された場合、調査機関への情報開示、参加者へ連絡することに同意をすること(但し、その他の利用目的での第三者への提供はしない)。

10-3 競技会期間中に競技会主催者及び競技会主催者が認めた者が撮影した、競技者やチーム関係者の写真、映像及び録音した音声を、ライフセービングの広報の目的で使用したり、第三者に対して使用を許諾することがある。

10-4 競技会への出場登録時に提出したエントリー情報は、本協会もしくは本協会の許可する者がアナウンスをしたり、掲示、公開する場合がある。

10-5 競技会中に競技会主催者が撮影を制限したり、拒否したりすることがある。なお、撮影された記録の提出を求める場合がある。

10-6 競技会主催者への提出書類の記載事項に虚偽が認められた場合、競技会への参加や記録が取り消されることがある。